



真岡市議会議員

お世話になります！

# 中村かずひこ通信

【発行元】中村かずひこ未来をつくる会 〒321-4362 真岡市熊倉町3423-4  
Tel. 0285-82-6285 e-mail tonpei@i-berry.ne.jp  
ホームページ <https://www.nakamurakazuhiko.com>



vol.72



## 一般質問が実現しました！



協働のまちづくりへ  
体制を強化

### 『市民協働推進室』を新設！

これまで真岡市では、自治会活動や地域づくり、NPO法人やボランティア団体などの市民活動、そして男女共同参画などの担当部署が、それぞれ分かれている状況にありました。そうした課題を踏まえ、令和3年度から総合政策部の中に『市民協働推進室』を新設。協働のまちづくりに関する窓口を一本化し、推進体制の強化を図っていくことになりました。



教育分野の  
トータルプロデュースに向けて

### 学校教育課に『教育政策係』を新設！

令和3年度から、学校教育課の中に『教育政策係』が新設され、指導主事(現役の教員)などのスタッフが新たに4名配置されることになりました。この係では、ICT教育や英語教育の推進、学力向上、コミュニティ・スクールや小中一貫教育などの課題をはじめ、教育部門の総合的な企画立案や調査研究を担っていきます。

※実現に向けてご尽力いただいた関係各位に心から感謝申し上げます。

「見逃した！」という方に  
バックナンバーをお送りします  
これまで『未来をつくる会』では、毎定期例議会終了時に、「中村かずひこ通信」を発行して来ましたが、71号までを見逃された方は、お気軽にご連絡下さい。  
こちらからお送りさせていただきます。

## 2月定例議会報告 2/19▶3/18

2月定例議会が、2月19日(金)から3月18日(木)の28日間にわたって行われました。今回執行部から出された議案は『令和3年度当初予算』のほか『真岡市部設置条例の一部改正』や『もおかっ子をみんなで育てよう条例の制定』など31件で、いずれも原案通り可決となりました。また、継続審査となっていた『国に対して妊産婦医療費助成制度を創設するよう意見書提出を求める陳情書』も可決されました。

## 代表質問

議員による質疑、一般質問は、3月1日(月)、2日(火)の2日間行われ、中村は1日の2人目として登壇。会派『もおか新時代』を代表して、4件の課題について質問しました。執行部は答弁の中で、



### 中村が行った代表質問の内容

- 1. 新型コロナウイルス感染症の対策について**
  - (1) ワクチンの接種に向けた今後の見通しについて
  - (2) PCR検査費用の助成拡大について
  - (3) 県と市との情報共有のあり方について
- 2. 教育関係の諸課題について**
  - (1) 学校教育課に新設する「教育政策係」の概要について
  - (2) 「コミュニティ・スクール」の導入について
- 3. 移住・定住の促進策について**
  - (1) UIJターンの促進に向けた取り組みについて
  - (2) 空き家のサテライトオフィス等への活用について
- 4. 芳賀地区広域行政事務組合が進める公共施設の整備について**
  - (1) 斎場の建て替えについて
  - (2) クリーンセンターの再構築について

- ◆新年度は『YouTube 広告』を活用しての地域情報発信をスタートさせること
  - ◆真岡市内の学校において、令和4年度から『コミュニティ・スクール』を導入すること
- などを明らかにしました。(中面に関連記事)

## 令和3年度 予算審査特別委員会

- また、3月16日(火)に行われた『令和3年度予算審査特別委員会』において、中村は以下の7項目について質疑を行いました。
1. 社会福祉協議会運営費補助費について
  2. 障がい児通所サービス費について
  3. 新型コロナウイルス感染症対策保育継続事業費について
  4. 不妊治療助成事業費について
  5. 農産物販売施設等整備事業費について
  6. 情報教育ネットワーク推進事業費について
  7. 成年後見サポートセンター委託費について

議会での質問の様子が、インターネットの録画配信でご覧いただけるようになりました。



次回発行予定日  
8月8日(日)  
発行予定です。新聞の折り込みチラシをご覧ください。



# 中村かずひと議会レポート

## 2月定例議会 代表質問



質問のやりとりが、インターネットの動画でご覧いただけるようになりました。

【答弁者】

石坂 真一 市長

田上 富男 教育長

野澤 伸一 市民生活部長

### 1. 新型コロナウイルス感染症の対策について



**質問** 真岡市は、1月12日付けで健康増進課にワクチン接種係を設置し、県内の自治体でもいち早くシミュレーションを行うなど、**新型コロナウイルスの感染防止**に向けて、**ワクチン接種の準備**を進めてきたところである。  
しかし、**ワクチンの確保**や、接種を実際に行う**医師の協力**などについて懸念は残る。今後の見通しはどのようになっているのか。

**答弁** 現在、国が示しているスケジュールに基づき、**4月下旬から65歳以上**の高齢者への**接種を予定**している。ワクチンは、かかりつけ医などによる**個別接種**や、市が行う**集団接種**を計画しており、医師や看護師の確保が重要となるので、芳賀郡市医師会と協議している。  
ワクチンが手元に届く**日時や数量**が**具体的に示されず苦慮**しているが、様々な状況を想定しながら準備を進めている。

**質問** 現在、真岡市では、**高齢者施設と障がい者施設**の職員に、2回分の**PCR検査費用を全額助成**している。現時点でも、116施設、約1,800名分ということなので大人数であることは理解する。  
しかし、**医療機関や学校、幼稚園、保育園、学童保育**、さらには、来庁者が増える時期を迎えることを考えると、**市職員など対象の拡大**を検討してもよいのではないか。

**答弁** 真岡市において、**高齢者施設と障がい者施設**の職員に、PCR検査費用を助成しているのは、栃木県内のこうした施設で**クラスターが多発し、重症化のリスクも高い**ことが理由として挙げられる。  
一方、**それ以外の施設**では、**クラスターが発生していない**状況にあるので、国が栃木県内で実施したモニタリング検査の結果などを踏まえ、**必要に応じて検討**していきたい。

**質問** 今年1月に、市議会が執行部に提出した新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書の中に、『**感染者の自宅待機**にともなう**サポート**』が盛り込まれている。  
しかし、市も**感染者の情報**を十分に**把握できない**ため、自宅待機者への**サポートは難しい**と聞いている。  
確かに、感染者の情報は保護されるべきである。しかし、**県と市の情報共有**のあり方は、そもそも現状で望ましいものと言えるのか、どうしても**疑問を抱く**のだが。

**答弁** 新型コロナウイルス感染症は、**感染症法**などに基づき、**情報共有が難しい**状態である。県から提供される情報は、年代、性別、職業が主な事項である。また、小中学校名や感染者が利用した公共施設名（濃厚接触者がいた場合）なども、今般追加されることになった。  
なお、**自宅療養者**については、県からの情報提供がなくても、療養者**本人の希望**があれば、市として**支援できる体制を整えた**ところである。

### 2. 教育関係の諸課題について



**質問** これまで、**教育分野のトータルプロデュース**を担う部署の必要性を度々訴えてきた。そうした中、令和3年度から、学校教育課に『**教育政策係**』が**新設**されることになった。この部署は、教育施策の企画立案機能を強化し、ICT教育の推進、学力向上など、**教育分野の様々な課題に迅速に対応**していくとのことであり、高く評価したい。  
そこで、**スタッフの人員**や、従来からあった『**指導係**』との役割の違いなどについての考えを聞きたい。

**答弁** 『**教育政策係**』は**4名の配置**を予定しており、教育分野の総合的な**企画立案と情報発信**、ICT教育の推進、英語教育や国際理解教育の推進、コミュニティ・スクールや学校の適正配置、さらには小中一貫教育の**調査研究**、総合教育**会議**、学力調査の結果**分析**、教科書の**採択**などの役割を担う。  
一方の『**指導係**』は現在の**6名体制を維持**し、教職員の授業力向上のための**指導・助言**、**教職員研修**、保護者や学校からの**教育相談**などを、『教育政策係』と連携しながら行っていく。

**質問** 『**コミュニティ・スクール**』は、保護者や地域住民が、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動に意見を述べたりできる制度を持った学校のことである。全国で指定を受けた学校では、地域と学校の信頼関係が強化され、**教員の多忙感解消**や**子ども達への指導力向上**につながっている。  
現在、**真岡東中学校が研究校として指定**を受けている。コロナ禍で様々な制約はあったと思うが、実際にはどのような調査研究が行われたのか。また、**新年度以降の計画**は。

**答弁** 令和2年度、**真岡東中学校**は、栃木県の『**学校と地域の連携推進モデル事業**』の指定を受け、令和4年度まで、地域と学校の多様なネットワークの構築に取り組んでいる。  
主な活動としては、**保護者や地域の方々**に、校内の共有スペースの消毒作業、学校行事の支援、学校施設の修繕、生徒会活動への講師をはじめ、**学校支援ボランティア**をお願いしてきた。この取り組みについては、市内全小中学校にリーフレットを配布して、周知にも努めてきた。なお、『**コミュニティ・スクール**』は、**令和4年度から開始**することを目指している。

### 3. 移住・定住の促進策について



**質問** 昨年、ある民間企業が実施したアンケートの結果によると、**地方へのUターン・Iターン**を希望する**20代の若者**は、**65.8%**にのぼっている。コロナ禍は、地方都市にとって新しい流れを創り出す転機であるとも言える。  
これまで真岡市も、若い世代に対する**定住支援策**に力を入れてはきたが、SNSを活用した**情報発信**の分野などでは、**まだまだ課題**があるように感じる。今後、どのように改善を図っていくのか。

**答弁** 新型コロナウイルス感染症対策としての**在宅勤務**などにより、地方でも仕事ができることが認識され、**UIターン**の**促進**には**好機**と考えている。  
現在、真岡市独自に『**移住定住オンライン相談**』を実施しているのに加えて、市からの情報を発信するサイト『**MOKA FAN**』も開設した。  
また、**情報発信**として、これまでも市のホームページや広報紙、ツイッター、ブログ、インスタグラムなども活用してきたが、**令和3年度**からは『**YouTube広告**』を新たな手法として取り入れていく。

**質問** 『テレワーク』に代表される働き方の変革は、コロナ後も進むものと思われる。そうした中で注目されているのが、本社などと通信機器でつないだ『サテライトオフィス』である。これまで、会派の建議要望などで、空き家を『サテライトオフィス』などとして活用できないか提案をしてきた。執行部からの回答では、先進事例の状況やニーズの把握に努めるなど、調査研究していくとのことであったが、**検討はどこまで**進んでいるのか。

**答弁** 現在、真岡市で認知されている空き家は**473件**あり、多くの空き家で老朽化が進んでいる。一方、**空き家バンク**には、令和3年1月末現在、**7件の物件情報**がある。これに対して、**移住定住の希望者**として**66名**が登録し、希望に沿う物件を待ち望んでいる状況となっている。そのため、まずは**移住定住者**への供給を**優先的に支援**した上で、『サテライトオフィス』などへの利用目的の拡充を検討していきたい。

#### 4. 芳賀地区広域行政事務組合が進める公共施設の整備について



**質問** 真岡市では、昨年9月に市役所新庁舎が完成したばかりだが、今後も学校給食センターの建て替えや、新庁舎周辺整備事業なども予定されている。さらに、**芳賀地区広域行政事務組合**による**公共施設の整備**も進めていかなければならない。特に、**斎場**は『建設基本計画』が策定されたものの、**場所の選定**などは**不透明なまま**である。**令和7年度**に対応限界を迎えることを考えれば、**早急な決断**が必要ではないか。

**答弁** 芳賀地区広域行政事務組合の**斎場**は、**昭和53年に建設**された施設であり、老朽化が進んでいることから、**令和2年3月**に『**建設基本計画**』が策定されたところである。しかし、各市町において**新型コロナウイルス感染症対策**を優先的に進めていたため、**具体的な議論には至っていない**。今後、感染症の状況や社会情勢を見極めながら、具体的な検討を進めていく。

**質問** 芳賀地区広域行政事務組合において、老朽化が課題となっている施設という、斎場に関心の目が行きがちだが、**し尿処理施設も更新の必要性**が高まっている。現在、益子町七井にある**第1クリーンセンター**と、真岡市三谷にある**第2クリーンセンター**について、将来的には1ヶ所に集約する可能性があるとの話も聞かすが、**どのように再構築**を進めていく考えなのか。

**答弁** 現時点では、芳賀地区広域行政事務組合の事務局での内部検討を進めているが、**具体的な計画策定までには至っていない**。

#### 再質問



##### PCR検査費用の助成について

**要望**

**PCR検査費用の助成**について、**市職員も対象**に加えてはどうかと提案したのは、福利厚生などの問題を言っているのではない。これから引越しのシーズンを迎え、**市役所も人の出入りが活発**な時期になる中で、感染源になってはいけないと思うからである。特に、ワクチンの接種を進めなくてはならない時期に、**担当者が感染**してしまえば、**ワクチン接種自体がストップ**する。そうした**危機管理の観点**から、ぜひとも対象の拡大は検討していただきたい。

##### 『教育政策係』について

**質問** 周辺の自治体では、『教育研究所』が設置されているところが多いが、今回真岡市が設置する『**教育政策係**』の役割は、『**教育研究所**』と同じと考えてよいのか、それとも何か**異なる点**はあるのか。

**答弁** 一般的な『**教育研究所**』は、独立して研究所を設置するケースと、現場の教員達を集めて必要な時に調査研究を行うケースの2つに分かれると認識している。真岡市が今回設置する『**教育政策係**』は、**企画立案**と**調査研究**の機能を併せ持つものである。また、学校教育課の中、特に『**指導係**』との**連携を重視**したいと考えており、独立した組織となるとそうした面が課題になるので、『**教育政策係**』という形にした。

##### 『コミュニティ・スクール』について

**要望**

今回の定例議会では、『**もおかつ子をみんなで育てよう条例**』が議案として提出されており、その第8条に、学校などは地域社会と一体となって教育活動を推進するよう努めなければならないとの文言がある。『**コミュニティ・スクール**』は、**第8条の理念そのもの**と言っても過言ではない。ぜひ、そうした観点からも、実現に向けて取り組んでいただきたい。

##### UJターンの促進について

**質問** 現在、真岡市が**SNS**で**情報発信**している内容について、**若い世代**に意見を聞いてみると、その**存在自体を知らなかった**という声が多かった。また、ツイッター、フェイスブック、インスタグラムなどは、それぞれ**利用者層**や**目的も異なる**ので、**キチンとターゲットを絞るべき**との意見も目立った。今後、真岡市が**SNS**を活用するにあたっては、**若い世代の声をもっと取り入れるべき**と思うが。

**答弁** SNSの活用について、今後も見直しができるものはしてブラッシュアップをしていきたい。そういう中で、幅広い世代が閲覧しているYouTubeの活用を今回進めることになった。今後も**様々な世代の意見を聞きながら**、真岡市の情報を発信していけるよう、十分検討していきたい。

##### 斎場の整備について

**質問** **斎場の整備**は、コロナ禍の中で、なかなか話し合いが進んでいないようだ。そして、建設候補地が決まったとしても、基本設計、実施設計と進み、建設工事が行われて**供用開始**までには**相当な時間**を要する。あまり時間はないが、**場所の選定**は**いつ頃まで**にどういった手順で決めるのか。

**答弁** 斎場については、**上三川町も**構成市町に加わっており、**1市5町で決めていく**ことになっているが、**候補地は未定**とのことであり、今後決まっていくものと考えている。

**質問** 仮に、斎場の候補地が決定されて、その後の**基本設計、実施設計**、そして**建設工事**から**供用開始**までには、**どの程度の期間**がかかる予定なのか確認したい。

**答弁** すでに策定されている基本計画の中では、**最短で5年**かかると記載されている。

**要望**

最短で5年ということは、**もう時間がない**。また、考えたくないが、高齢化がさらに進む中で**亡くなる方々も増えていく**。真岡市としても、他町に働きかけながら**早急に候補地**を決めていただきたい。

特集

# 新型コロナウイルス ワクチン接種 について

問合せ  
健康増進課 ワクチン接種推進係  
☎0285-83-8080

これまで真岡市では、3月5日(金)から医療従事者等、4月26日(月)から高齢者施設・障がい者施設の入居者とスタッフへの接種が始まりました。

## 現在の状況

～65歳以上の方への接種が始まりました～  
『集団接種』または『個別接種』をお選びください

2会場で  
接種しています

### 集団接種

5月 8日(土)～ **スポーツ交流館**  
(週3回 日・木・土曜日)

5月22日(土)～ **二宮コミュニティセンター**  
(3週間ごとの土曜日)

#### 予約方法

ワクチン接種予約相談センター  
☎0285-83-8080

(8:30～17:00 土日祝全日)

または インターネットによる予約



2ヶ所以上の会場での二重予約はできません

かかりつけ医など  
でも接種しています

### 個別接種

5月 1日(土)～ **市内39の医療機関で  
順次接種を開始**

※接種可能な医療機関一覧は下のQRコードからご確認ください

#### 予約方法

各医療機関へ直接ご連絡ください



接種可能な  
医療機関一覧



## 今後の予定

～高齢者のワクチン  
接種終了後～

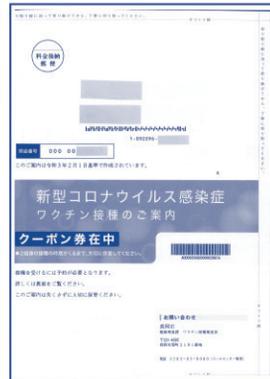
①基礎疾患がある市民

②一般市民 の順に接種が行われます

### 接種券が 送付されます

ワクチンの接種が可能となった  
時点で「接種券」(A4サイズ)  
が送付されます

現時点での予定であり、今後  
変更になることもあります。  
市役所からの情報をご確認  
ください。



今回も  
頑張りました!!

## 大学生インターンシップ事業

昨年夏に続いて、中村はNPO法人ドットジェイビーが主催する  
インターンシップ事業で、2～3月の2ヶ月間、大学生達を受け入れました。  
彼らは、議会傍聴をはじめ、様々な経験を重ねたほか、政策コンテスト  
でも入賞を果たすなど、大いに頑張りました。

### 今回参加した学生達



**海老原 宏樹さん**  
白鷺大学 法学部 1年



**大根田 颯一さん**  
白鷺大学 法学部 1年



**山崎 直人さん**  
帝京大学 理工学部 1年

### 2ヶ月間の活動の様子



#### 《市議会を傍聴》

一般質問や、各常任委員会での  
議論を傍聴しました。



#### 《真岡市内などを視察》

真岡木綿会館や、ドローン開発者、  
ナス農家などを訪れ、貴重なお話  
を聞きました。



#### 《政策コンテストで3位入賞!》

事務所対抗で行った政策コンテスト  
で、真岡市のイノシシ対策を考え、  
栃木ブロック内(全19事務所)で  
3位入賞を果たしました。

## コラム むあっが

### 齋場

～決断が急がれる もうひとつの公共施設問題～

4月に行われた市長選で、図書館の再整備を含めた新庁舎周辺整備事業が大きな争点となったことは記憶にも新しい。この課題については、現時点で市民の間でも意見が分かれている。ただし、全国各地の公共施設は、昭和40年代から50年代に建てられたものが多く、築40～50年が経過し、老朽化が進んでいることだけはまぎれもない事実である。今後、人口減少や高齢化がさらに加速し、厳しい財政状況になる中で、それぞれの施設について、建て替え、統合再編、廃止のいずれを選択していくのか、各自自治体とも決断を迫られてくる。

真岡市では、昨年9月に市役所新庁舎が完成したばかりだが、今後も学校給食センターの建て替えや、前述の新庁舎周辺整備事業などが計画されている。加えて、芳賀地区広域行政事務組合が運営する齋場の再整備も、結論が急がれる課題である。

齋場は、誰もが人生の最後に使う公共施設である。そのため、市民の皆さんの関心度も大変高い。昭和53年に建設され、老朽化が著しくなった現在の齋場をどうすべきか、私もこれまで度々ご意見やご質問をいただいていた。

#### 『現齋場が2025年度に対応限界を迎えるが、新齋場の場所についてどう考えるか?』

2019年春に行われた市議選に先立ち、下野新聞社が立候補予定者に実施したアンケートの中にそのような設問があった。私はその際、齋場の整備は早急に取り組むべき課題であり、現齋場の場所に建て替えることが、最も現実的な選択肢ではないかと回答した。

あれから2年が経過し、広域行政事務組合において『新齋場建設基本計画』は策定されたが、残念ながら場所の選定などは未だに不透明なままである。仮に、齋場の建設候補地がすぐに決まったとしても、それから先に基本設計、実施設計へと進み、建設工事が行われて、実際に運営されるまでには『最短で5年』(2月定例議会の答弁より)かかると思われる。

これまで各市町において、新型コロナウイルス感染症の対策に力を注いでいたため、議論が予定通り進まなかったことは理解するが、2025年度に施設に対応限界を迎えるという現実と、完成までに要する期間を照らし合わせると、真岡市が他の5町に対して強いリーダーシップを発揮しながら、早急な決断と行動をしていくことが不可欠ではなからうか。

※芳賀地区広域行政事務組合齋場

芳賀地域の1市4町に加え、上三川町の住民が使用している。

## 中村かずひの活動日誌

1月	
6日	新型コロナウイルス感染症対策支援本部
14日	議会だより編集委員会 大学生インターンシップ指導日
15日	新型コロナウイルス感染症対策支援本部
16日	新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書を市長に提出
18日	NPO法人ドットジェイビー「キックオフイベント」 あいさつボランティア
21日	議員協議会
23日	議会活性化等検討委員会
25日	大学生インターンシップとの面会
31日	あいさつボランティア 臺若会計監査
2月	
1日	あいさつボランティア 会派代表者会議 大学生インターンシップ指導日
3日	大学生インターンシップ指導日
4日	会派「もわか新時代」ミーティング
8日	あいさつボランティア 予算内示 議会活性化等検討委員会 ローカルマニフェスト推進連盟オンライン研修会
10日	全国若手市議会議員の会OB会オンライン研修会
12日	会派代表者会議 議会運営委員会
12日	議員協議会
15日	あいさつボランティア
16日	会派「もわか新時代」勉強会 代表質問の通告書を提出
17日	大学生インターンシップ指導日 質疑一般質問調整会議 ※その後、担当課によるヒアリング
19日	2月定例議会開会 ライブリー教室作品展
21日	NPO法人ドットジェイビー「中間発表会」
22日	あいさつボランティア
25日	会派「もわか新時代」ミーティング
3月	
1日	質疑一般質問1日目 ※この日、2人目として登壇 議会運営委員会
2日	質疑一般質問2日目 広報広聴準備委員会
3日	帝京大学理工学部 太田龍馬講師と面会 ケーブルテレビ広報番組収録
4日	民生文教常任委員会を傍聴
5日	民生文教常任委員会を傍聴
6日	大学生インターンシップ指導日 熊倉4区会計監査
8日	あいさつボランティア 産業建設常任委員会を傍聴
9日	産業建設常任委員会を傍聴
11日	総務常任委員会
12日	決算審査特別委員会通告締め切り ※その後、市の担当課によるヒアリング
13日	大学生インターンシップ指導日
14日	NPO法人ドットジェイビー「未来自治体」
15日	あいさつボランティア
16日	予算審査特別委員会
18日	議会運営委員会 2月定例議会閉会 議会だより編集委員会 広報広聴準備委員会
22～26日	広報広聴準備委員会 市役所内にてアンケート
22日	あいさつボランティア
23日	大学生インターンシップ指導日
24日	全国若手市議会議員の会OB会オンライン研修会
25日	大学生インターンシップ 農政課職員などと意見交換
27日	大学生インターンシップ指導日
28日	NPO法人ドットジェイビー「最終報告会」
29日	横田誠・佐野市議会議員に面会
30日	齊藤誠之・那須塩原市議会議員に面会 大学生インターンシップ指導日